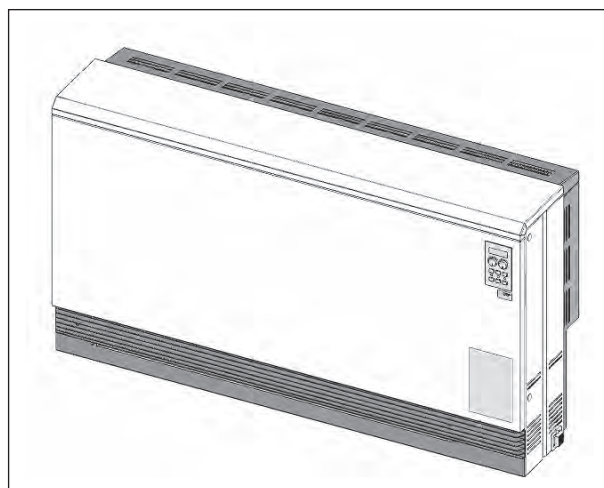
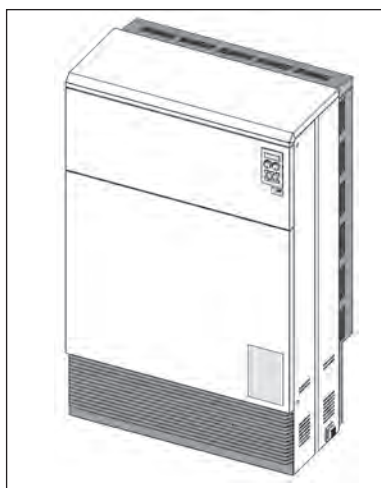
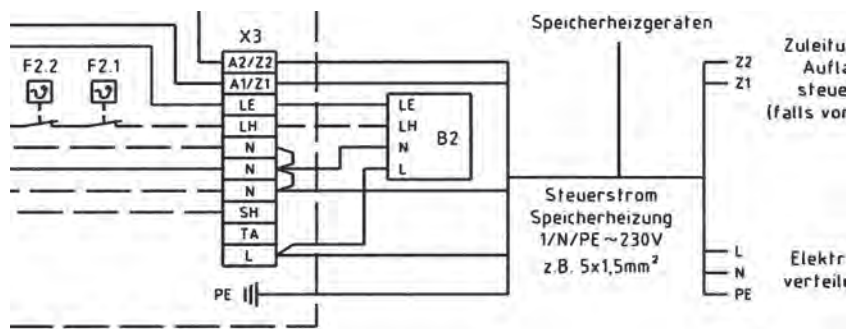
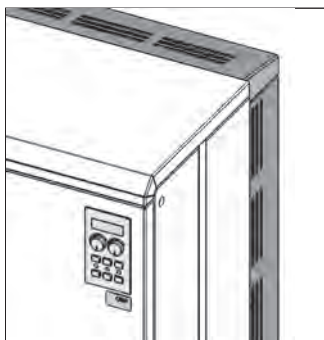
OLSBERG

User Manual　取扱説明書（保証書付）　Ver.1.3～

Carat（キャラット）　標準型　14-51_-9
Montana（モンタナ）　縦長型　14-53_-9
Century（センチュリー）　横長型　14-55_-9

このたびは、オルスバーグ蓄熱式電気暖房器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みいただいた後は、保証書が付属しておりますので大切に保管してください。

蓄熱式電気暖房器が転倒した場合の対応

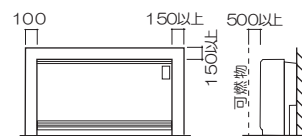
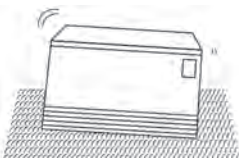
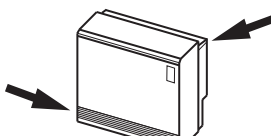
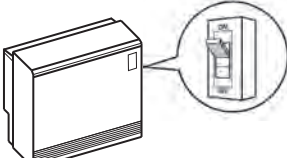
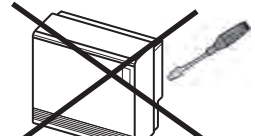
地震等で万が一、蓄熱式電気暖房器が転倒した場合は、転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、本体と床等可燃物が密着して火災になる恐れがありますので、以下の通り処置をお願いいたします。

1. 念のため、お手を触れずにブレーカーを切ってください。
2. 落下物など可燃物が近くにある場合は取り除いてください。
3. 暖房中に万が一転倒した場合には、念のため本体の周りから床などに水を掛けてください。
4. その後、すみやかに販売店、または工事店に連絡してください。

※水を掛ける場合は本体に直接掛からない様にご注意ください。
二次災害を防止する為の処置により発生した錆や変形等にかかわる修理代金はお客様のご負担となります。

１．目　次

シーズンオフ又はお使いにならない場合の設定の仕方

暖房シーズンが終わりましたら、不要な動作を防ぐ為に２００V電源ブレーカーをお切りください。
１００Vにて制御回路に給電している場合は、蓄熱設定を０％にした後にチャイルドロックを掛けてください。

2. ご使用前に良くお読みください

①蓄熱式電気暖房器“オルスバーグ”は、安全性に十分考慮して設計されておりますが、より安全で快適にご使用いただくために、下記の点にご注意下さい。
②ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号	意味
⃠	「禁止」を表します。
⚠	「火傷の恐れあり」を表します。
❗	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

絶対に覆わないで下さい ●本体を毛布や衣類、タオル等で絶対に覆わないで下さい。	**燃えやすい物を置かないで** ●本体の上や周囲には燃えやすい物を置かないで下さい。	**やけどに注意** ●温風吹出し口に手足などを触れないで下さい。 ●乳幼児や体の不自由な方は暖房器に近づけさせないで下さい。
吹出し口を塞がないで ●温風吹出し口の近くに暖気を遮る物を置かないで下さい。	**水をかけないで** ●花瓶の水をこぼしたり、雨の吹込みに気を付けて下さい。	**本体に腰掛けないで** ●本体に腰掛けたり、物をのせたりしないでしないで下さい。
壁等から離して設置 ●家具や畳等の間は下図の様に離して下さい。 ●カーテン等燃えやすい物の近くでは特に守って下さい。 100 150以上 500以上 150以上 可燃物	**不安定な場所に置かない** ●安定性の欠ける畳やカーペット等の上には直接設置しないで下さい。	**転倒防止金具を取り付けて** ●地震、その他による転倒を防ぐ為、付属の転倒防止金具を取り付けて下さい。
据付工事は専門業者に ●必ずお買上げ販売店または、専門業者（電気工事士）に工事を依頼して下さい。	**ブレーカーは指定容量で** ●指定容量（アンペア）のブレーカーを使用して下さい。 ON OFF	**単独ブレーカーの取付を** ●単独ブレーカーの取り付けが必要となります。
アースは必ず接続 ●接続されていないと感電・故障の原因となります。 アース	**分解・改造は絶対不可** ●事故の原因となりますので、分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。修理は販売店にご相談下さい。	**点検等はブレーカーを「切」に** ●感電の恐れがありますので点検時は必ずブレーカーを切って下さい。

３．製品の特徴

蓄熱式電気暖房器は次のような数多くの優れた特徴を持っています。

■経済性

昼間の電気料金の１／３～１／４で利用できる割安な深夜電力を利用して蓄熱しますので非常に経済的です。
オルスバーグのマイコンは、使わなかった熱（残熱量）を計算し通電開始時刻を自動制御します。
深夜電力の時間帯の終わり時刻から逆算して蓄熱開始時刻を決定しますのでとても経済的です。
電力会社によっては、割引制度が適用になりますので更にお得です。
（割引の有無、割引率は電力会社によって異なります）

■簡単操作

暖房シーズンに入ったら、蓄熱量設定をし２００VのブレーカーをONにします。
季節に合わせて蓄熱量を調節すれば、後はオルスバーグのマイコンが毎日自動的に蓄熱します。
室温を設定し、ファンのボタンを押すだけで室温が下がると自動的にファンが回り快適温度を保ちます。
ファンには消し忘れ防止機能がありますので、蓄熱開始時間になると自動的に切れて設定蓄熱量を確保します。
操作部も基本操作はダイヤルで操作できるように配置し、各種機能はメニューボタンを押して操作するように配置。どなたでも簡単に操作することができます。

■安全性

火を使わないので火災の危険性が少なく、爆発や中毒、酸欠の心配はありません。
また、二重三重の安全機能が装備されておりますので常に安心してお使いいただけます。
オルスバーグ製品は独自に、オルスバーグアースクエークプロテクションの設計思想で
高い耐震性能を実現しました。（ＯＥＰ：Olsberg Earthquake Protection）

■快適性

本体の表面パネルが熱くなり、周りの空気を暖めて自然対流させるふく射熱と、内蔵のファンを回して行う強制放熱の複合暖房の為、とてもマイルドな暖房感です。
ファンは設定した温度より室温が下がると回転を始め自動的に快適暖房を行います。

■クリーン性

燃焼が無いのでお部屋の空気を汚しません。また、一酸化炭素中毒の心配もありません。

■メンテナンス性

シンプルな構造の為故障しにくく、操作も簡単で面倒な燃料補給も不要です。

■省エネの為に

室温を２０℃以下に設定すると省エネ効果があります。
１℃上がるたびに６～７％電気代が高くなり、１℃下げる事で６～７％節約できます。
冬場に長期間家を不在にする時は、ファンのスイッチを切り、蓄熱設定も低めにしておくと良いでしょう。
ただし、切ってしまうと家が冷えてしまい暖房に時間が掛かりますのでご注意ください。
室内を常に保温状態に保つほうが経済的です。
換気をする時はファンのスイッチを切り、窓を広く開け短時間で換気したほうが経済的です。
外が暗くなったら、カーテンやブラインドを閉め、外に熱が逃げたり冷たい外気が侵入するのを防ぎましょう。

4．操作方法

■操作部の位置関係と名称

LCDディスプレィ
通常は曜日・現在時刻
残熱量を表示します。

蓄熱設定ダイヤル
ダイヤルを回して蓄熱量
を設定します。（Ｐ６参照）

室温設定ダイヤル
ダイヤルを回して室温を
設定します。（Ｐ６参照）

＋ボタン

セットボタン
設定の確定と移動
４秒長押しでチャイルド
ロックが掛かります。

－ボタン

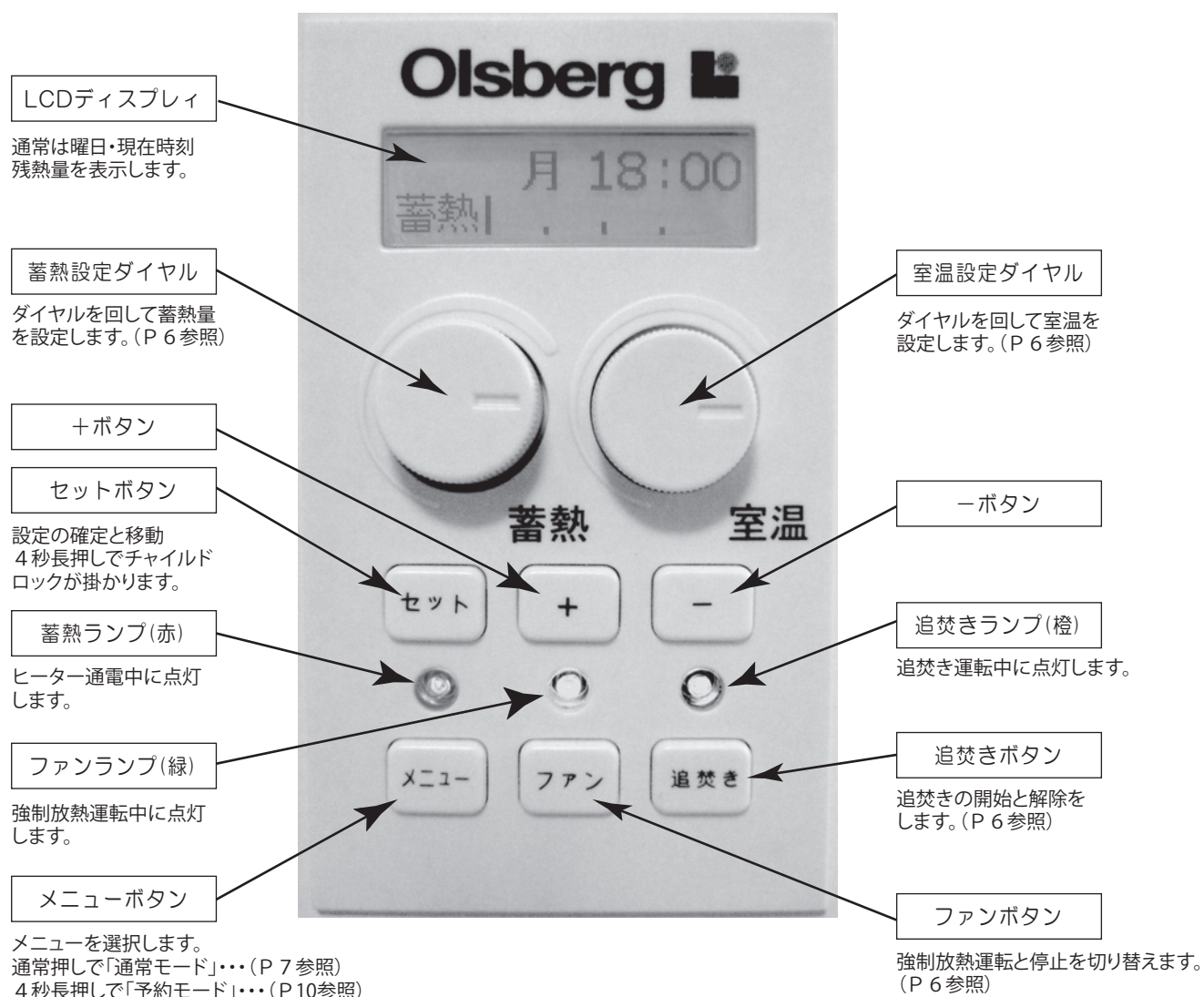
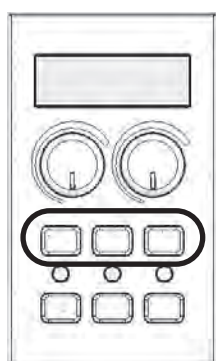
蓄熱ランプ(赤)
ヒーター通電中に点灯
します。

追焚きランプ(橙)
追焚き運転中に点灯します。

ファンランプ(緑)
強制放熱運転中に点灯
します。

追焚きボタン
追焚きの開始と解除を
します。（Ｐ６参照）

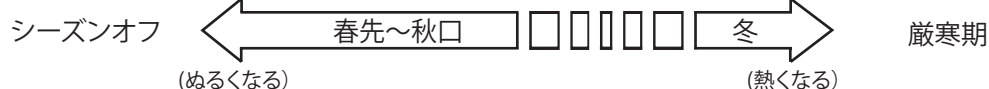
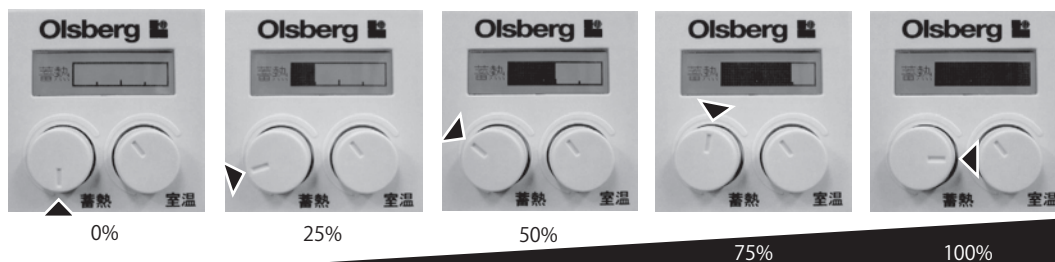
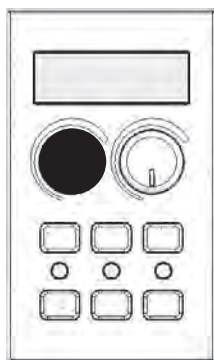
メニューボタン
メニューを選択します。
通常押しで「通常モード」･･･（Ｐ７参照）
４秒長押しで「予約モード」･･･（Ｐ10参照）

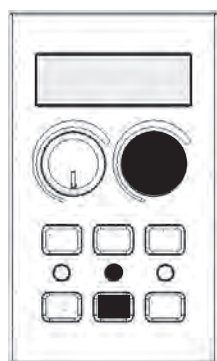
ファンボタン
強制放熱運転と停止を切り替えます。
（Ｐ６参照）

1．LCDディスプレィ

通常表示では、「曜日」「現在時刻」「残熱量」を表示しています。
ボタンやダイヤルを操作すると、ディスプレィのバックライトが点等します。
15秒間点灯した後、自動的に消灯します。
バックライトを点灯させたい時は、「セット」「＋」「－」のどれかを押してください。
ディズプレィ表示を切り替えた後、30秒間何も操作をしないと通常表示に戻ります。

◇通常表示

（例）残熱量約40％を表示しています。
※残熱量が減るほど本体の温度もぬるくなります。
※残熱量表示はあくまで目安とお考えください。

２．蓄熱設定ダイヤル

「蓄熱設定ダイヤル」により、蓄熱量を設定します。

●左いっぱいに回すと０％、右いっぱいに回すと１００％になります。
●蓄熱設定ダイヤルを回すとディスプレィに設定量がバー表示されます。
●設定量は０％～１００％まで無段階に設定できます。
●蓄熱設定バーには目盛りが表示されますので、設定の目安にして下さい。
※設定終了後３０秒経過すると通常表示に戻ります。
※ダイヤルを早く回すとバー表示が遅れますのでゆっくり回してください。

３．室温設定ダイヤルとファンボタン（強制放熱運転）

「室温設定ダイヤル」により、5℃～３０℃まで0.５℃刻みで設定できます。

●暖房器側の室温センサーは床面に近い場所に設置されている為、居室内の室温計の表示と誤差が出る事があります。
暖房器の室温設定値はあくまで目安とし、お好みに合せて設定してください。
●ファンボタンを押しランプ（緑）が点灯するとファンの運転が開始されます。
●ランプ（緑）が点灯している時は、暖房機で感知している温度が設定室温より低いとファンが回り、設定室温に到達するとファンが止まるという動作を自動的に繰り返します。
●もう一度ファンボタンを押しランプ（緑）を消灯させるとダイヤルによる室温設定が解除されて自然放熱のみの運転となります。
●室温設定はファンが稼働する設定温度なので、室温設定を変更しても本体の温度及び温風の温度は変わらないのでご注意下さい。
※設定終了後30秒経過すると通常表示に戻ります。
※本体がぬるくなっている時に室温を高く設定しても温風の温度は高くならないのでご注意下さい。（吹出しグリルから放出される温風は本体の温度に依存したものとなります）
●通電制御による蓄熱開始時刻になると、ファンは自動的にストップします。
これは、設定した蓄熱量を確保する為の動作ですが、「ファン」ボタンを押せばファンを回す事が出来ます。
ただし、翌朝設定蓄熱量に達しない事がありますのでご注意下さい。

ご注意
朝7時前にファンを使用した場合、
設定蓄熱量に達しない事があります。

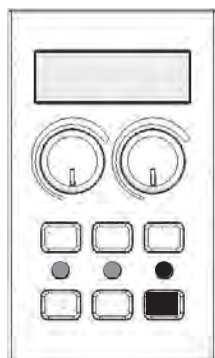
最小値

〔目安〕１８～２２℃

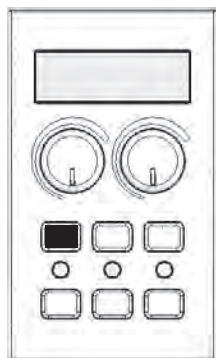
最大値

※室温設定は、お好みに合せて設定してください。

４．追焚き運転

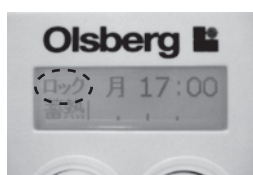
※時間帯別電灯契約(TOU)の場合のみ。

「追焚き」ボタンを４秒間長押しすると強制的に蓄熱運転を行う事が出来ます。
※昼間電力の時間帯に使用される場合は深夜電力より電気料金が高くなるのでご注意下さい。

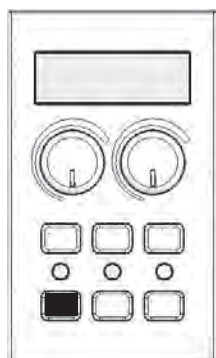
●「追焚き」ボタンを４秒間長押しすると、追焚きランプ（橙）が点灯し、その後に蓄熱ランプ（赤）とファンランプ（緑）が点灯し強制通電状態になります。
（蓄熱しながら室温センサーと連動してファンも回転します）
※「ファン」ボタンを押せば、追焚き運転中にファンを停止させる事も出来ます。
●追焚き運転は２時間のオフタイマーを内蔵しています。
２時間経過するか、設定蓄熱量に達すると自動的に解除されます。
また、蓄熱開始時刻になった時も自動的に解除されます。
※追焚き運転中に「追焚き」ボタンを再度押すと強制的に解除する事も出来ます。
（4秒間の長押しは必要ありません）
●残熱量が設定蓄熱量より多い場合、追焚き運転を行う事ができません。
（一旦追焚きランプ（黄）が点灯しますが、数秒後に消灯します）

5．チャイルドロック

「チャイルドロック」機能を使用して、不意な操作を防止できます。

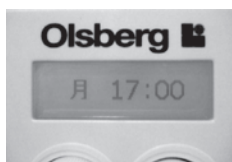
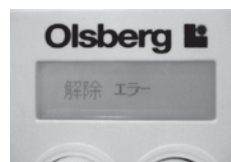
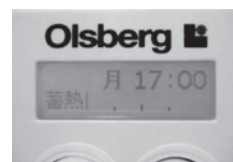
●「セット」ボタンを４秒間長押しするとチャイルドロックが掛かります。
チャイルドロックが掛かるとディスプレィに「ロック」と表示されます。
解除するには再度「セット」ボタンを４秒間長押ししてください。

●チャイルドロック中は、全てのボタンやダイヤルがロックされます。
※チャイルドロック中に蓄熱及び室温設定ダイヤルが操作された場合、ロックが解除された時に操作された値がディスプレィに表示され設定値が変わります。

※停電やブレーカーが落ちた時は、再度給電を開始した時にロックが解除された状態になりますのでご注意下さい。
※チャイルドロック後に「蓄熱設定ダイヤル」又は「室温設定ダイヤル」を回すとバックライトが常時点灯しダイヤルが回された事を通告します。
バックライトが気になる場合は一旦チャイルドロックを解除し、ダイヤルを再設定した上で再度チャイルドロックを掛けてください。

※チャイルドロックは、通常表示画面からのみ設定が可能です。

6．メニューボタン（通常モード）

「メニュー」ボタンを押すと時計合わせとエラー解除の各メニューが表示されます。

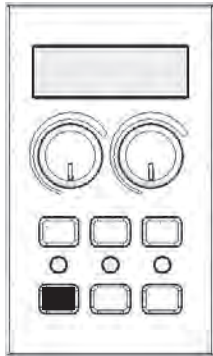
●「メニュー」ボタンを押す毎に、各メニューを表示します。

◇通常表示
↓
①時計合わせ
↓
②解除エラー
↓（エラーの解除）
◇通常表示

①時計合わせ（１回押し）

②解除エラー（２回押し）

◇通常表示（３回押し）
に戻る

●各メニュー機能の選択は「セット」ボタンを押す事で選択できます。
設定内容は、「＋」「－」ボタンを使用して変更します。
変更した設定を確定する為には、最後に「セット」ボタンを押します。

※「時計合わせ」はP８を、「解除エラー」はP9をご覧ください。

5．時計合わせ・エラー解除の方法

1．時計合わせ ・・・「メニュー」ボタンｘ１回

◇オルスバーグ蓄熱式電気暖房器にはシーズンオフにブレーカーをＯＦＦにしても停電補償機能が搭載されており時計は作動しております。
しかし、時計自体の誤差がありますのでシーズンイン時にブレーカーをＯＮにした時に時刻がずれている事があります。
１年に一回、シーズンイン時に現在時刻をご確認頂き、誤差が生じている場合は、下記の手順に従って現在時刻の修正を行ってください。

〔時計合わせの手順〕
月曜日の１７：００から火曜日の１８：１０に変更する場合です。

①時計修正画面（点滅箇所なし）　②「曜日」修正画面（「曜日」が点滅）　③「時」修正画面（「時」が点滅）　④「分」修正画面（「分」が点滅）　⑤「セット」ボタンで修正確定

①通常表示画面で「メニュー」ボタンを1回押すと時計修正画面に変わります。（点滅箇所なし）
②「セット」ボタン・・・「曜日」が点滅→「＋」ボタンｘ1回で「月」から「火」に修正。
③「セット」ボタン・・・「時」が点滅→「＋」ボタンｘ1回で「17時」から「18時」に修正。
④「セット」ボタン・・・「分」が点滅→「＋」ボタンｘ10回で「00分」から「10分」に修正。
⑤「セット」ボタン・・・点滅がとまり設定完了。

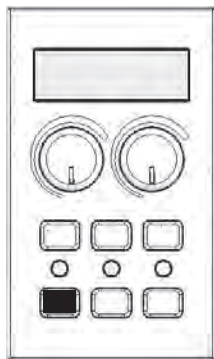
◇点滅している箇所で「＋」「ー」ボタンを押すと、曜日・時・分が修正できます。
「＋」ボタン・・・曜日・時・分の順送り
「ー」ボタン・・・曜日・時・分の逆送り

〔２００V電源だけで給電している場合〕
シーズンオフにブレーカーを落とすとディスプレィ表示が消灯します。
シーズンオフの期間中は、バックアップ電池により時計は動作しておりブレーカーを上げると現在時刻が表示されます。
この時、現在時刻をご確認頂き、誤差がある場合は修正してください。

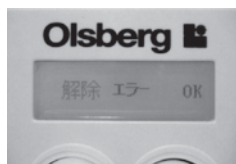
〔１００V＋２００Vで給電している場合〕
シーズンオフに蓄熱用の２００Vブレーカーを落としてもディスプレィの表示は消えません。
１００Vがコンセントで繋がっている場合、シーズンオフ期間中はコンセントプラグを抜いてください。

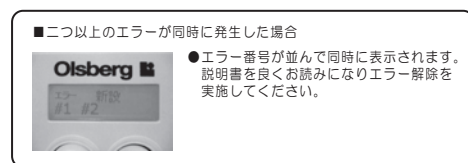
ブレーカーを上げた時に、大幅に時計表示が狂っている時は、バックアップ電池が消耗しています。バックアップ電池の交換が必要です。
※停電補償は10年です。（計算値）

■バックアップ電池の交換　　時計のバックアップ電池は、本体の右側面パネルの中にあるメイン基板に取り付けられています。（ＣＲ２０３２）
電池を交換する場合は、右側面パネルを開ける必要がありますので、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

2．解除エラー ・・・「メニュー」ボタンｘ２回（エラーの解除を行います）

◇機械のチェックの必要が生じた場合、ディスプレィにエラー表示が通常表示と交互に表示されます。

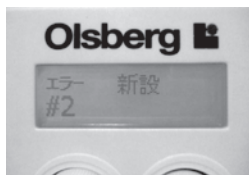
※エラー表示画面が出た場合は、バックライトは常時点灯となります。

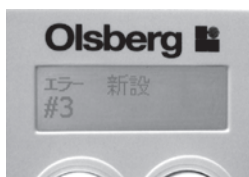
◇エラー解除画面
「メニュー」ボタンを２回押す。

◇「セット」を押すと右側に「OK」と表示されるので、更にもう一度「セット」を押すとエラー表示が解除されます。

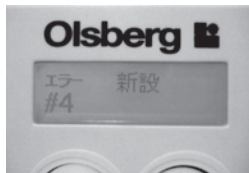
〔ご注意〕エラーの種類によってエラーを解除する方法が異なります。
下記のエラー毎の解除方法をご参照ください。

◇エラー番号には＃１～＃９があります。

〔エラー＃１〕室温センサー異常・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●室温センサーに異常が検知されると「エラー＃１」が表示されます。
●稀にノイズ等の影響で「エラー＃１」が表示される事がありますが、エラー情報が消えるとエラー表示は自動的に消えます。（エラー表示の自動復帰機能）
●この場合はそのままお使い頂いても問題はありません。
※エラー＃１表示が出続ける時は、販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃２〕コアセンサー異常・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●コアセンサーに異常が検知されると「エラー＃２」が表示されます。
●稀にノイズ等の影響で「エラー＃２」が表示される事がありますが、エラー情報が消えるとエラー表示は自動的に消えます。（エラー表示の自動復帰機能）
●この場合はそのままお使い頂いても問題はありません。
※エラー＃２表示が出続ける時は、販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃３〕蓄熱回路異常・・・解除エラー画面より、エラー表示を解除します。

●蓄熱回路に異常が検知されると「エラー＃３」が表示されます。
●蓄熱回路に不具合が生じ、正常に蓄熱されなかった時に表示されます。
●100Vで制御回路に給電している場合は、200Vブレーカーの入れ忘れ等によって蓄熱ができなかった場合も「エラー＃３」が表示されます。
※この場合は、ブレーカーと蓄熱設定ダイヤル位置を確認してください。

〔エラー＃４〕転倒検知スイッチ作動・・・本体の設置状況を確認し,２００V(100V)電源をリセットしてください。

●360度の方向に25度以上の傾きを検知した時に表示されます。
●解除は２００V(100V）の電源リセットが必要です。
●蓄熱式電気暖房器の設置状態に不具合が無い事を確認した上でエラーの解除を行ってください。

〔エラー＃５〕基板周辺温度上昇・・・自動復帰（エラー解除の操作はいりません）

●CPU及び操作部基板の周辺雰囲気温度が規定値より上昇すると表示されます。
放熱し周辺温度が下がればエラー表示は自動解除します。
●隣接する家具等の影響により暖房器の周辺に熱篭りが起きている可能性があります。
移動できる家具は移動し離隔を確保してください。

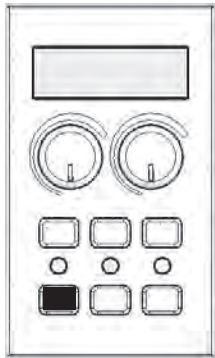
〔エラー＃７〕時計読込み異常・・・時計の再設定

●電源投入時に時計の読込みデータに異常が発生した場合表示されます。
●「時計合わせ」にて曜日及び時刻の再設定を行ってください。エラーが解消されれば問題ありません。
●時計の再設定を行ってもエラー表示が解消されない場合は販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

〔エラー＃６、＃８、＃９〕CPU基板異常

●CPU基板の異常です。販売店にご連絡頂き点検を受けてください。

6．ファン予約・蓄熱減設定（予約モード）

◇「メニュー」ボタンを4秒間長押しすると、ファン予約・蓄熱減設定・解除予約を行う「予約モード」に入ります。

●通常表示から「メニュー」ボタンを4秒間長押しすると、「予約モード」に入ります。
メニューボタンを押すと「ファン予約」「蓄熱減設定」「解除予約」が切替わります。

①ファン予約
↓
②蓄熱減設定
↓
③予約解除
↓
◇通常表示

①ファン予約

②蓄熱減設定

③解除予約（ファン予約・蓄熱減設定の一括解除）

●各メニュー画面で「セット」ボタンを押すと設定画面に切り替わります。
設定内容は、「＋」「－」ボタンを使用して調節します。
変更した設定を確定する為には、最後に「セット」ボタンを押します。

1．ファン予約　・・・　「メニュー」ボタン4秒長押し→「予約モード」

ご注意
朝7時前にファンを予約した場合、蓄熱量が蓄熱設定値に達しない場合があります。

◇予め登録された6種類の「登録済プログラム」の中から生活パターンに一番近いモードをお選び下さい。また設定内容（時間、曜日等）の変更も簡単にできるのでお好みの設定にすることも可能です。

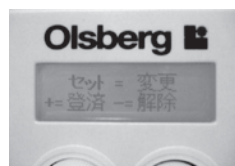
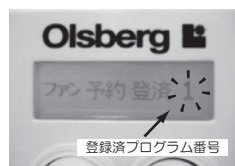
◇設定された曜日・時刻になるとファンが自動的に運転し快適な室内環境を作ります。

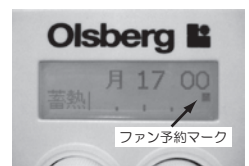
◇ファンのON-OFF時刻・ファン予約を設定する曜日は自由に変更できます。

◇設定内容は停電時及びブレーカーを落としても保持しますので、毎シーズン使用開始する時に設定しなおす必要はありません。

ファン予約の設定方法

※P12～P13の「ファン予約設定の手順（設定変更シュミレーション）」もご覧ください。

①ファン予約画面

②設定画面

③登録済プログラム選択画面

④予約内容確認画面

⑤ファン予約マーク

①「メニュー」ボタンを4秒長押しし、「ファン予約」を表示させて「セット」ボタンを押します。

②「設定画面」で下記の選択が表示されたら「＋」ボタンを押します。
「セット」ボタン：設定内容の変更・確認
「　＋　」ボタン：登録済プログラム選択（６種類）
「　－　」ボタン：ファン予約の解除（蓄熱減設定は解除されません）

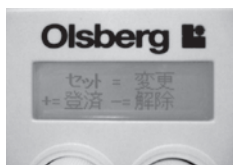
③「登録済プログラム選択画面」が表示されたら「＋」「－」ボタンを押して6種類の登録済メニュー（P11参照）から、生活パターンに一番近いメニュー番号を選択し「セット」ボタンを押します。→　この段階でプログラム設定が有効になります。

④予約内容確認画面に切り替わり、設定されている予約番号（#番号）の数字が点滅します。
「＋」「－」ボタンを押すと「予約番号」が送られ各予約内容の表示・確認ができます。
設定内容を変更しない場合は「メニュー」ボタンを数回押して行き、通常画面に戻れば予約完了となります。
予約時刻、曜日等の変更が必要な場合は、「セット」ボタンを押す毎に点滅箇所が移動するので、必要な箇所を「＋」「－」ボタンで変更し「セット」ボタンで確定します。
「メニュー」ボタンを2回押すと「ファン予約」画面に戻り予約完了になります。

⑤「ファン予約」が完了すると、通常画面の右端に「ファン予約マーク」（■）が表示されます。

ご注意

ファン予約マークと蓄熱減設定マークは表示される位置が異なりますのでご注意ください。

ファン予約内容の確認と変更の方法

②設定画面

④予約内容確認画面

現在の設定を確認するには②の「設定画面」で「セット」ボタンを押すと、現在の設定が呼び出され「予約番号」（#番号）が点滅します。

※「セット」ボタンでではなく「＋」ボタンを押してしまうと登録済プログラムの初期値が呼び出され従来の設定が消えてしまうのでご注意下さい。

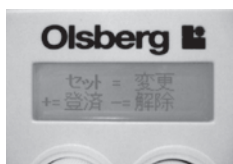
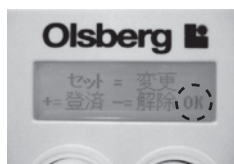
「＋」「－」を押すと全ての予約番号の内容が確認できます。

内容を変更する場合は「セット」ボタンを押して変更したい箇所に点滅を移動させ、「＋」又は「－」ボタンで変更し、「セット」ボタンで確定します。

曜日の設定は、曜日の上に「×」が表示されていると予約が働かない曜日になります。この場合、「＋」ボタンを押すと「×」が消え予約設定となります。

変更後は「セット」ボタンで確定し、「メニュー」ボタンを2回押すと通常画面に戻ります。

ファン予約の解除方法

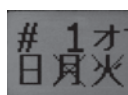
※ファンの予約だけを解除する時に使用します。

②設定画面

◇ファン予約の解除

②の「設定画面」で「－」ボタンを押すと確認の為に「OK」と表示されます。

「セット」ボタンを押すとファン予約の解除が完了します。

※通常画面に戻った時に、「ファン予約マーク」が消えている事を確認してください。

登録済 ファン予約設定リスト

登録済プログラム番号	予約番号	運転モード	設定時間	曜日設定							想定使用状況
				日	月	火	水	木	金	土	
ファン 予約 登済 1	#1	ON	06：00	○	○	○	○	○	○	○	通常使用時
	#2	OFF	22：00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 2	#1	ON	06：00	○	○	○	○	○	○	○	週休2日（土日）で平日日中不在の家庭
	#2	OFF	08：00	×	○	○	○	○	○	×	
	#3	ON	17：00	×	○	○	○	○	○	×	
	#4	OFF	22：00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 3	#1	ON	06：00	○	○	○	○	○	○	○	週休1日（日）で平日日中不在の家庭
	#2	OFF	08：00	×	○	○	○	○	○	○	
	#3	ON	17：00	×	○	○	○	○	○	○	
	#4	OFF	22：00	○	○	○	○	○	○	○	
ファン 予約 登済 4	#1	ON	07：00	×	○	○	○	○	○	×	職場での使用（土日休み）
	#2	OFF	19：00	×	○	○	○	○	○	×	
ファン 予約 登済 5	#1	ON	09：00	○	×	×	×	×	×	○	週末のみ使用する別荘等 金曜日の夜到着 日曜日の夜出発
	#2	ON	17：00	×	×	×	×	×	○	×	
	#3	OFF	19：00	○	×	×	×	×	×	×	
	#4	OFF	23：00	×	×	×	×	×	○	○	
ファン 予約 登済 6	#1	ON	07：00	○	○	○	○	○	○	○	午前午後不在となる家庭
	#2	OFF	09：00	○	○	○	○	○	○	○	
	#3	ON	11：00	○	○	○	○	○	○	○	
	#4	OFF	14：00	○	○	○	○	○	○	○	
	#5	ON	16：00	○	○	○	○	○	○	○	
	#6	OFF	22：00	○	○	○	○	○	○	○	

●表中の「○」は設定あり。ディスプレィ上に「×」表示なし。

●表中の「×」は設定解除。ディスプレィ上に「×」表示あり。

※左の例では、「日」は設定。「月火」は設定解除となります。

ファン予約設定の手順（設定変更シュミレーション）

登録済ファン予約設定リストの中から「ファン予約登済２」を選択し、予約時刻や予約曜日の変更をする場合の手順を説明します。

「ファン予約登済２」設定済内容 ― 変更内容

「＃１」	オン	０６：００	日〜土全て「○」	→　０６：３０に変更
「＃２」	オフ	０８：００	日、土のみ「×」	→「水」の設定を解除
「＃３」	オン	１７：００	日、土のみ「×」	→「水」の設定を解除
「＃４」	オフ	２２：００	日〜土全て「○」	→　２３：３０に変更

１．登録済ファン予約設定リストの中から「ファン予約登済２」を予約設定します。

①通常画面ｘ4秒長押し

②ファン予約画面

③設定画面

④登録済プログラム選択画面

⑤登録済プログラム２選択

①ー通常画面で、メニューボタンを4秒長押しします。
②ー画面に「ファン予約」と表示されたら「セット」ボタンを押します。
③ー設定画面に切り替わります。
④ー「＋」ボタンを押し、登録済プログラム選択画面に切り替えます。
⑤ーファン予約の登録済プログラム番号が点滅しますので、「＋」ボタンを1回押し登録済番号を「２」に変更し「セット」ボタンを押します。（この段階でプログラム設定が有効になります）

※「セット」ボタンを押さずに30秒経過すると通常画面に戻り予約は設定されません。
※「セット」ボタンの変わりに「メニュー」ボタンを押すと、「②ファン予約」画面に戻り予約は設定されません。
※「ー」ボタンで逆送りする事ができます。

２．「予約番号　＃１」の予約時刻を６：００から６：３０に変更します。

⑥予約内容確認画面

⑦予約時間変更

⑧時刻変更

⑥ー予約内容確認画面に切り替わり、「予約番号 ＃１」が点滅します。
⑦ー「セット」ボタンを３回押し、点滅箇所を「分」に移動させます。
※点滅箇所が行き過ぎてしまった場合は、「セット」ボタンを複数回押し再び「分」を点滅させてください。
⑧ー「＋」ボタンを３回押して「００」分から「３０」分に変更したら「セット」ボタンで確定します。（設定単位は１０分単位です）
※「ー」ボタンを押すと逆送りできます。

3. 「予約番号　＃２」と「予約番号　＃３」の水曜日の設定を解除します。

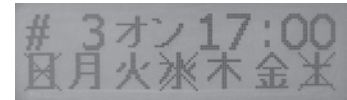
⑥予約内容確認画面

⑨予約番号を「２」に

⑩水曜日を解除する

⑪予約番号を「３」に

⑫水曜日を解除する

⑨ー⑧の後「セット」ボタンを押して行き「予約番号　＃１」を点滅させせます。
「＋」ボタンを１回押し、予約番号を「＃２」に切り替えます。
⑩ー「セット」ボタンを押して行き「水」を点滅させ、「ー」ボタンを押すと「水」に「X」が付くので「セット」ボタンで確定します。
※「X」を消す時には「＋」ボタンを押します。

⑪ー「セット」ボタンを押して行き「予約番号　＃２」を点滅させ、「＋」ボタンを１回押し予約番号を「＃３」に切り替えます。
⑫ー「セット」ボタンを押して行き「水」を点滅させ、「ー」ボタンを押すと「水」に「X」が付くので「セット」ボタンで確定します。

4. 「予約番号　＃４」の予約時刻を２２：００から２３：３０に変更します。

⑬予約番号の切り替え

⑭「時」の変更

⑮「分」の選択

⑯「分」の変更

⑬ー⑫から「セット」ボタンを押して行き「予約番号　＃３」を点滅させ、「＋」ボタンを１回押し「＃４」に切り替えます。
⑭ー「セット」ボタンを押して行き「時」を点滅させ、「＋」を１回押し２２時を２３時に変更します。
⑮ー「セット」ボタンを１回押し点滅箇所を「分」に変更します。
⑯ー「＋」ボタンを３回押し、「分」を「３０」に変更し「セット」ボタンで確定します。
⑰ー「メニュー」ボタンを押して行き通常画面に戻せば完了です。

5. 予約の完了と「ファン予約マーク」の確認

①通常画面

⑰ファン予約マーク

⑰ー⑯で「分」の修正が終わりましたら、「メニュー」ボタンを４回押し通常画面に戻ります。
画面の右端に、予約がされた事をあらわす「ファン予約マーク」が表示された事を確認してください。
「ファン予約マーク」と「蓄熱減設定マーク」は共に■で表示されます。
※表示される位置が異なりますのでご注意ください。

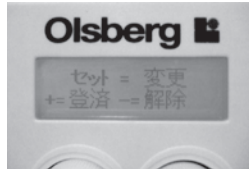
２．蓄熱減設定

・・・◇蓄熱減設定は、設定した曜日の蓄熱設定量を現在の蓄熱設定に対して最大70%減らすことができます。
以下の様な使い方をされるユーザーには便利な機能です。

・週末は不在になるオフィスや学校等
・週末のみ使用する別荘等
・その他数日間の小旅行などで不在になる場合等

◇設定内容は、停電時及びブレーカーを落としても保持されます。

蓄熱減予約の設定方法

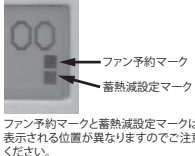
①蓄熱減予約画面

②設定画面

③登録済プログラム選択画面

④蓄熱減設定

⑤蓄熱減設定完了

ご注意
ファン予約マーク
蓄熱減設定マーク
ファン予約マークと蓄熱減設定マークは表示される位置が異なりますのでご注意ください。

①「予約モード」で「メニュー」ボタンを１回押し、ディスプレィに「蓄熱減」を表示させる。
②「セット」ボタンを押すと蓄熱減予約の設定画面に切り替わります。
③「＋」ボタンを押すと登録済プログラム番号の選択画面になり、登録済プログラム番号が点滅します。
「＋」「－」ボタンで生活に一番近い登録済プログラム番号を選択し「セット」ボタンを押すと設定が確定します。設定内容を変更しない場合は「メニュー」ボタンを数回押して行き通常画面に戻れば予約完了です
④設定内容を変更する場合は、③で確定した「蓄熱減設定画面」より変更することも可能です。（後で変更することも可能です）
⑤設定変更した場合は、変更した値を「セット」ボタンで確定してから「メニュー」ボタンを数回押して行き通常画面に戻れば予約完了です。

設定内容の確認と変更の方法

①現在の設定を確認するには②の「設定画面」で「セット」ボタンを押すと現在の設定が呼び出され内容の確認が行えます。
※「セット」ボタンではなく、「＋」ボタンを押してしまうと登録済の初期値が呼ばれ、従来の設定が消えてしまうのでご注意下さい。
②「曜日」点滅時に「＋」「－」ボタンを押すと曜日を変更できます。
③「セット」ボタンを押すと「曜日」と「％値」の点滅を切替える事ができます。
④「％値」の点滅時に「＋」「－」ボタンを押すと０％～７０％の範囲で変更する事ができます。
変更したら必ず「セット」ボタンで確定して下さい。（１０％単位での変更が可能です）

蓄熱減設定の解除

②の「設定画面」で「－」ボタンを押すと確認の為に「OK」と表示されます。
「セット」ボタンを押すと蓄熱減設定の解除が完了します。
※通常画面に戻った時に、「蓄熱減設定マーク」が消えている事を確認してください。

登録済 蓄熱減設定リスト

登録済蓄熱減設定メニュー	曜日設定							想定使用状況
	日	月	火	水	木	金	土	
蓄熱 減 登済 １	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	通常使用時
蓄熱 減 登済 ２	0%	30%	30%	30%	30%	30%	0%	平日昼間に留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 ３	0%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	土曜日も留守になる家庭等
蓄熱 減 登済 ４	70%	0%	0%	0%	0%	0%	70%	週末に使わないオフィス等
蓄熱 減 登済 ５	0%	70%	70%	70%	70%	30%	0%	週末のみ使用する別荘等

◇蓄熱減の設定％は、設定されている蓄熱量に対する％となります。
〔計算の仕方〕
蓄熱設定値ｘ（１００％－減熱設定値）＝蓄熱量　　８０％設定時に５０％減熱設定した場合→８０％ｘ（１００％－５０％）＝４０％
６０％設定時に３０％減熱設定した場合→６０％ｘ（１００％－３０％）＝４２％

蓄熱減設定の手順（設定変更シュミレーション）

登録済蓄熱減設定リストの中から「蓄熱減登済４」を選択し、蓄熱減設定量を変更をする場合の手順を説明します。

「蓄熱減登済２」設定済内容 ―――― 変更内容

「土～日」　蓄熱減設定量７０％　→「日」の蓄熱減設定量を５０％に変更
「月～金」　蓄熱減設定量　０％　→「月」の蓄熱減設定量を５０％に変更

１．登録済蓄熱減設定リストの中から「蓄熱減登済４」を予約設定します。

①通常画面ｘ4秒長押し

②「セット」ｘ1回

③設定画面

④登録済プログラム選択画面

⑤登録済プログラム４選択

①－通常画面で、メニューボタンを4秒長押しし画面に「ファン予約」と表示されます。
②－更に「メニュー」ボタンを1回押すと「蓄熱減」と表示されます。
③－「セット」ボタンを1回押すと「設定画面」に切り替わります。
④－「＋」ボタンを押すと、蓄熱減の登録済プログラム選択画面に切り替わり登録済プログラム番号が点滅します。
⑤－「＋」ボタンを３回押しファン予約登録済番号を「４」に変更し「セット」ボタンを押します。（この段階でプログラム設定が有効となります）
※「セット」ボタンを押さずに30秒経過すると通常画面に戻り予約は設定されません。
※「セット」ボタンの変わりに「メニュー」ボタンを押すと、②の「蓄熱減」画面に戻り予約は設定されません。
※「－」ボタンで「蓄熱減プログラム番号」を逆送りする事ができます。

２．「蓄熱減登済４」の設定内容を変更します。

日曜日:蓄熱減%を７０%→５０%
月曜日:蓄熱源%を０%→５０%

⑥「蓄熱減設定」画面

⑦%値の変更

⑧曜日の変更

⑨%値の変更

⑩%値を変更したら確定

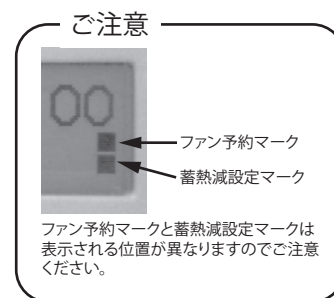
⑥－蓄熱減設定画面に切り替わり「日」が点滅します。
⑦－「セット」ボタンを１回押し点滅箇所を%値の変更に移動させ、「－」ボタンを2回押し蓄熱減設定値を５０%に変更します。
※蓄熱減の設定値は１０%単位で０%～７０%まで設定できます。
※「＋」ボタンで設定値が増え、「－」ボタンで設定値が減少します。
※点滅箇所が行き過ぎてしまった場合は、「セット」ボタンを押して再び%値を点滅させてください。
⑧－「セット」ボタンを押すと点滅箇所が曜日に移動するので「＋」ボタンを1回押して「日」から「月」に変更します。
⑨－「セット」ボタンを1回押し点滅箇所を%値に変更し、「＋」ボタンを5回押し設定値を５０%に変更します。
⑩－蓄熱減の設定値が５０%と表示されたら「セット」ボタンを押して設定を確定します。

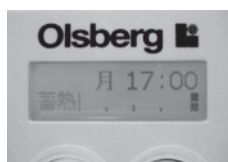
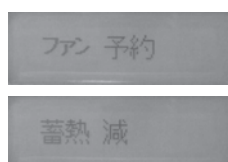
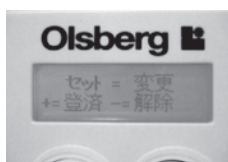
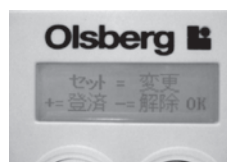
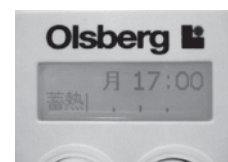
3．蓄熱減設定の完了と「蓄熱減設定マーク」の確認。

①通常画面

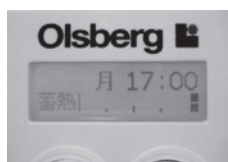
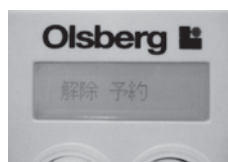
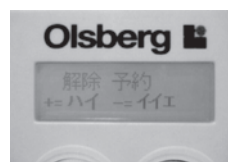
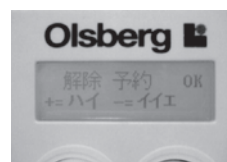
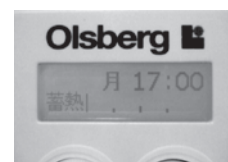
⑪蓄熱減設定マーク

⑪ー⑩で「メニュー」ボタンを3回押すと通常画面に戻りますので、画面の右端に予約がされた事をあらわす「蓄熱減設定マーク」が表示された事を確認してください。

※「蓄熱減設定マーク」と「ファン予約マーク」は共に■で表示されます。表示される位置が異なりますのでご注意ください。

ファン予約、蓄熱減設定の個別解除方法

ファン予約及び蓄熱減設定は、シーズンオフにブレーカーを落としても設定が消えません。
ファン予約及び蓄熱減設定を個別に解除する場合はそれぞれの「設定画面」から解除を選択します。

①通常画面

②ファン予約、蓄熱減

③設定画面

④予約解除確認画面

⑤予約マークの消灯確認

①ー通常画面で、「メニュー」ボタンを4秒長押し予約モードに切り替えます。
②ー「ファン予約」又は「蓄熱減」を表示させ「セット」ボタンを押します。
③ー設定画面で「ー」ボタンを押すと、右端に「OK」と表示されます。…（④の画面）
④ーここで「セット」ボタンを1回押すと予約が解除されます。
※予約内容の一部だけを解除する事は出来ません。
⑤ー「メニュー」ボタンを数回押し、通常画面に戻り「ファン予約設定マーク」又は「蓄熱減設定マーク」が消えた事を確認してください。

3．解除 予約　・・・　ファン予約・蓄熱減設定を一括解除する時に使用します。

①通常画面

②解除 予約

③予約一括解除画面

④予約一括解除確認画面

⑤予約マークの消灯確認

①ー通常画面で、「メニュー」ボタンを4秒長押し予約モードに切り替えます。
②ー「メニュー」ボタンを2回押し「解除予約」を表示させ「セット」ボタンを押します。
③ー予約一括解除画面に切替わり「＋」ボタンを押すと、右端に「OK」と表示されます。
④ー「セット」ボタンを1回押すと予約内容が一括解除されます。
※ファン及び蓄熱減の予約内容が一括して消去されますのでご注意ください。
⑤ー「メニュー」ボタンを数回押し、通常画面に戻り「ファン予約設定マーク」又は「蓄熱減設定マーク」が消えた事を確認してください。

７．お手入れの仕方

●オルスバーグの蓄熱式電気暖房器は、お手入れが簡単になっています。

●オルスバーグは、ファンフィルターを装備しております。
埃の付着度合いに応じてフィルターを定期的にお手入れしてください。
（暖房シーズンに入る時にお手入れするのが理想的です。）

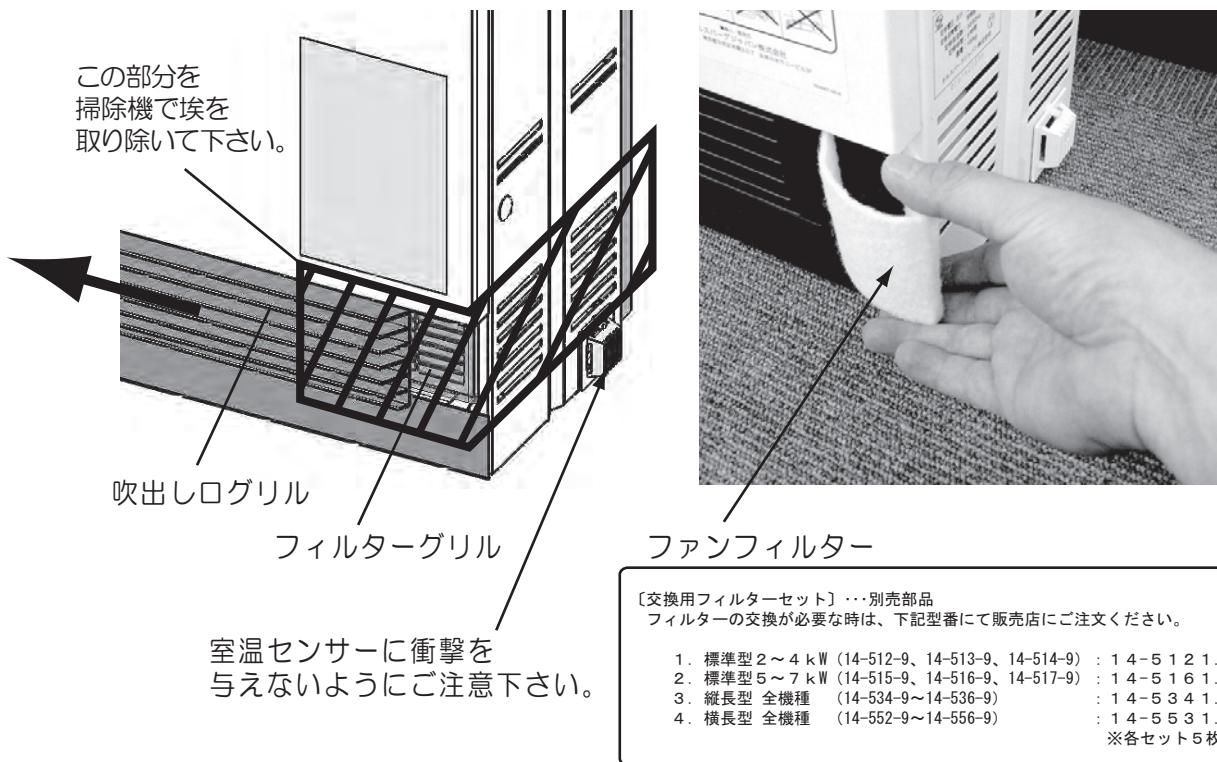
■ファンフィルターのお手入れ方法

①日常のお手入れは1ヶ月に1回程度、フィルター装着部の外側から掃除機を当てて
埃を取り除いて下さい。また本体周辺の床面も掃除機で埃を取除いて下さい。

②シーズンの始まりには下図の様に吹き出しグリルを左にスライドさせて内部フィルターを引き出し、
掃除機で埃を除去することを推奨します。
※吹き出しグリルが熱くないことを確認の上、行ってください。
※グリル内の左右にある取付ビスが締まっている場合は、少し暖めて行ってください。
※重量の重い機種の場合は設置環境によりスライドしにくい場合があります。
この場合、本体が冷めた状態（シーズンオフ等）で行うと動く場合があります。

〔交換用フィルターセット〕･･･別売部品
フィルターの交換が必要な時は、下記型番にて販売店にご注文ください。

１．標準型２～４ｋW	(14-512-9、14-513-9、14-514-9)	：	１４-５１２１．９２９９
２．標準型５～７ｋW	(14-515-9、14-516-9、14-517-9)	：	１４-５１６１．９２９９
３．縦長型 全機種	(14-534-9～14-536-9)	：	１４-５３４１．９２９９
４．横長型 全機種	(14-552-9～14-556-9)	：	１４-５５３１．９２９９

※各セット５枚入り

■ファンのお手入れ方法

●ファンは本体内部に固定されています。
●ファンフィルターを通過してしまう細かいチリや埃がファンに付着しますので、定期的な
点検清掃が必要です。
●お手入れの頻度は取付状態やご使用状態によって変わります。
●購入後一回目のお手入れは二度目の暖房シーズン前に行う事をお勧めします。
（それによってお手入れのサイクルを決定できます）
**●ファンの点検清掃は、保証期間内でも有償サービスとなります。
詳しくはお買い求めの販売店にお問合せ下さい。**

■本体のお手入れ方法

●本体が汚れた時は、柔らかい布に少量の中性洗剤を染み込ませ拭き取ってください。
●クレンザー等研磨剤の入った洗剤を使用すると本体に傷が付きますのでお避けください。
●お部屋のお掃除をする時に、本体の右側面の吸気用スリットに付着した埃も吸い取ってください。

8．ご注意

●初期の蓄熱時に、臭いや煙の発生が見られることがありますが異常ではありません。
①初期の運転時に限り見られる現象です。
②内部の断熱材、ヒーター素子等に付着した油分や蓄熱レンガ等に含まれる湿気が原因です。
③数回の運転で現象は収まります。
※臭いや煙が発生した場合は、窓を開けるなどしてお部屋の換気を十分に行ってください。

●本体に音鳴りが発生することがありますが異常ではありません。
①通電開始後に通電音が聞こえる事があります。
②ファンを使用した強制放熱運転時や、ファンを停止した際に音が発生する事があります。
③筐体が冷えたり加熱している時に音鳴りが発生する事があります。
※②、③は加熱・冷却により鉄板が伸縮する事により発生する音で危険性はありません。

●暖房器の近くや上に燃えやすい物を置かないで下さい。
木製のもの、洗濯物、洋服、新聞、毛布や家具を暖房器の上に置かないでください。
また、暖房器の（特に熱くなっている吹出しログリル）前に家具を25cmより近づけないでください。

●使用中は本体が熱くなります。（７０～８０℃）
低温やけどの恐れがありますので、小さなお子様やお年寄りのいるご家庭の使用にはご注意願います。

●蓄熱式電気暖房器は爆発性のガスや可燃性のホコリのある部屋では使用しないでください。
ホコリが出る大掃除の際は、ファンを切って運転するか、一時的に運転を中止してください。

●オルスバーグ蓄熱式電気暖房器は最適な安全調整を行っております。
不正な修理はお客様に大きな危険を与える可能性があります。
修理等は適切な資格を持ったサービス店で行ってください。

9．故障かな？と思ったら

●故障かな？と思ったらお問合せの前に以下の項目をご確認ください。

◇蓄熱式電気暖房器が暖まらない

・蓄熱設定ダイヤルが正しく設定されているかご確認ください。
・ブレーカーが上がっているかご確認ください。

◇ファンが回らない

・室温設定ダイヤルが正しく設定されているかご確認ください。
・本体右側の離隔距離は十分確保されていますか？

●サービス（点検・修理）を依頼される場合は。

◇次の事をお知らせください。

①型番・製造番号・・保証書または、本体の右側面パネルの下側に貼られた銘板シールに記載されています。
②納品日・・・・・・保証書を確認ください。（入居日でも可）
③故障状況・・・・・いつ頃から、どのような症状が出ていたか？

10. 製品仕様書

型番		標準型（キャラット）						縦長型（モンタナ）			横長型（センチュリー）				
		14-512-9	14-513-9	14-514-9	14-515-9	14-516-9	14-517-9	14-534-9	14-535-9	14-536-9	14-552-9	14-553-9	14-554-9	14-555-9	14-556-9
定格電圧（V）		単相２００V　１電源方式（蓄熱・送風・制御部）　※制御部及びファンは配線部の繋ぎ替えで１００Vによる駆動可能。													
定格容量	蓄熱部（kW）	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000	7.005	4.005	5.010	6.000	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000
定格容量	送風部（W）※（ ）内は100V駆動時	11(11)	12(12)	13(13)	22(20)			22(20)			13(13)	22(20)			
蓄熱レンガ	素材	○酸化マグネシウムを主体とした特殊セラミック					○酸化鉄を主体とした特殊セラミック								
使用箱数	SP19	2	3	4	5	6									
使用箱数	SP49	2	3	4	5	6									
使用箱数	SP29						6								
使用箱数	SP50						6								
使用箱数	SP46							3	3	3	4	5	6	8	9
使用箱数	SP27							3	4	6					
使用箱数	SP37								1						
定格熱量（kWh）		16.08	24.00	32.04	40.08	48.00	56.04	32.04	40.08	48.00	16.08	24.00	32.04	40.08	48.00
有効蓄熱量（kW）		13.74	20.60	27.74	35.03	42.03	49.52	28.30	35.55	42.88	13.73	20.81	28.20	35.37	42.45
有効蓄熱率（%）		85.5	85.8	86.6	87.4	87.6	88.4	88.3	88.7	89.3	85.4	86.7	87.5	88.3	88.4
ヒーター素子		○ステンレスシーズヒーター													
断熱材		○マイクロサーム及びマルチサーム550						○マイクロサーム 及び バーミキュライト			○マイクロサーム及びマルチサーム550				
送風機		○シロッコファン													
送風機	騒音値（dB）	24.2	23.4	25.8	25.7	25.1	25.1	25.9	25.7	25.1	26.4	26.3	25.8	25.7	25.1
蓄熱量調節器		○PT100センサー													
蓄熱量調節器		○OFF：215℃													
蓄熱量調節器		○蓄熱量調節器：無段階調節													
放熱量調節器		○室温センサー													
放熱量調節器		○設定温度に応じファンを自動ON－OFF													
安全装置	温度過昇防止器	○OFF：135℃					○OFF：150℃	○OFF：135℃							
安全装置	温度過昇防止器	○手動復帰型													
安全装置	蓄熱制御センサー	○125℃自動復帰型						○112℃自動復帰型							
安全装置	送風温度調整ダンパー	○バイメタル方式													
安全装置	送風温度調整ダンパー	○吹出し口温度に応じ自動開閉													
安全装置	転倒時給電停止装置	○フォトセンサー　360°の方向に25°の傾斜で作動													
安全装置	転倒時給電停止装置	○正常姿勢に戻した後200V（100V）電源を再投入													
安全装置	転倒時給電停止装置	○ヒーター及びファン電源を遮断													
安全装置	吹出し口温度センサー	○OFF・・・125℃						○OFF・・・85℃			○OFF・・・125℃				
安全装置	エラー表示 #1	室温センサーエラー・・・室温センサーの異常													
安全装置	エラー表示 #2	コアセンサーエラー・・・コアセンサーの異常													
安全装置	エラー表示 #3	蓄熱回路エラー・・・蓄熱回路又は蓄熱制御回路に不具合が生じ、正常に蓄熱されなかった場合に表示													
安全装置	エラー表示 #4	転倒センサー・・・本体の傾きが25°以上の傾斜を感知すると表示													
安全装置	エラー表示 #5	基板周辺温度上昇・・・熱篭り等により基板周辺温度が規定値より上がると表示。													
安全装置	エラー表示 #6	CPU基板異常・・・販売店にご連絡下さい。													
安全装置	エラー表示 #7	時計読込み異常・・・電源投入時に時計の読込みに不具合が合った場合表示。													
安全装置	エラー表示 #8	CPU基板異常・・・販売店にご連絡下さい。													
安全装置	エラー表示 #9	CPU基板異常・・・販売店にご連絡下さい。													
安全装置	転倒防止機能	○プレート状転倒防止金具にて背面壁固定 及び 床固定													
200V電源用耐熱ケーブル		2.5φ		4.0φ	6.0φ		10.0φ	4.0φ	6.0φ		2.5φ		4.0φ	6.0φ	
寸法	幅（mm）	575	750	925	1135	1310		670			860	1010	1160	1460	1610
寸法	高さ（mm）	640						805	933	1061	476				
寸法	奥行（mm）	300						380			345				
重量（kg）		100	140	180	225	265	347	230	280	330	148	181	215	281	314

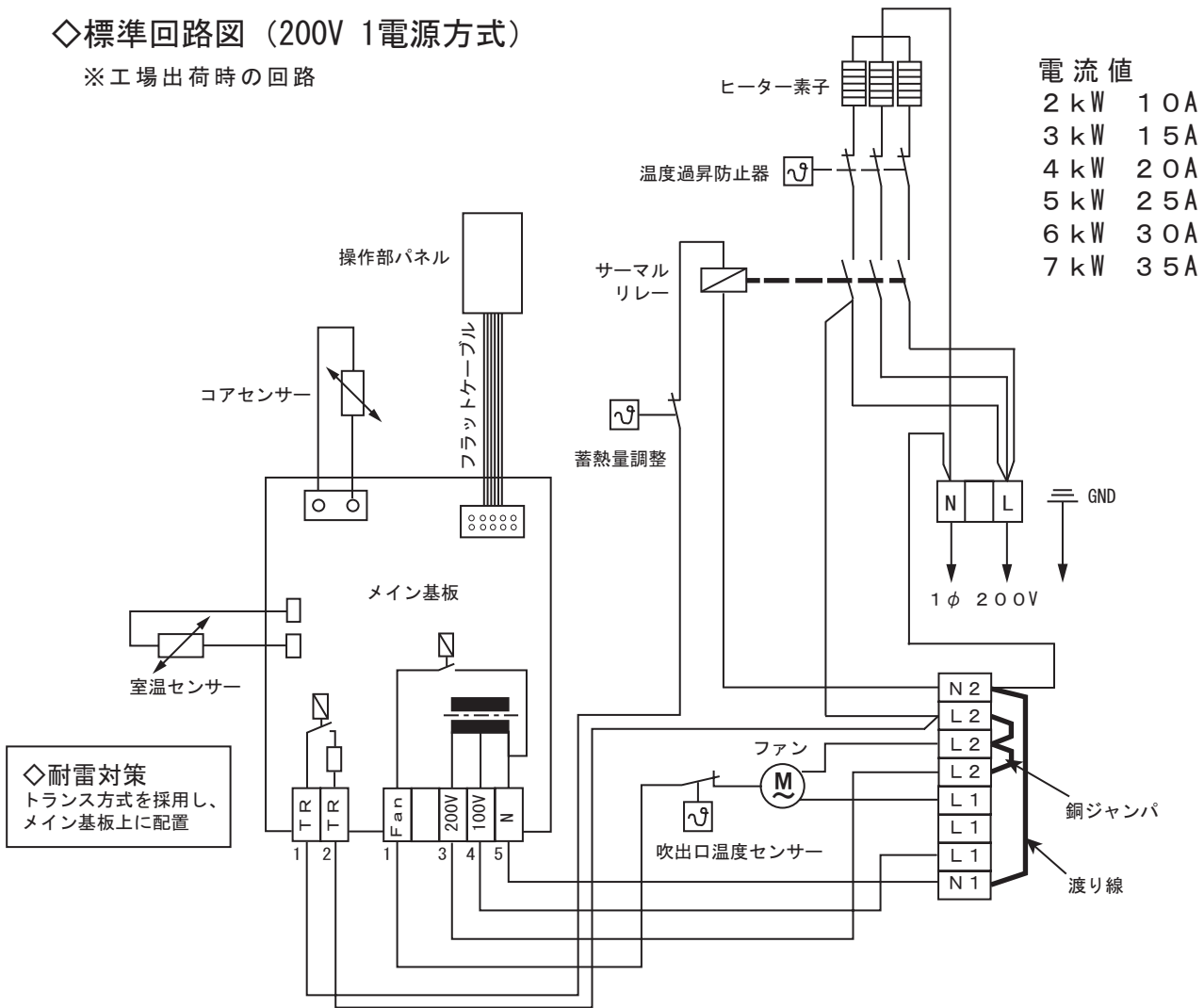
11. 回路図

◇標準回路図（200V 1電源方式）

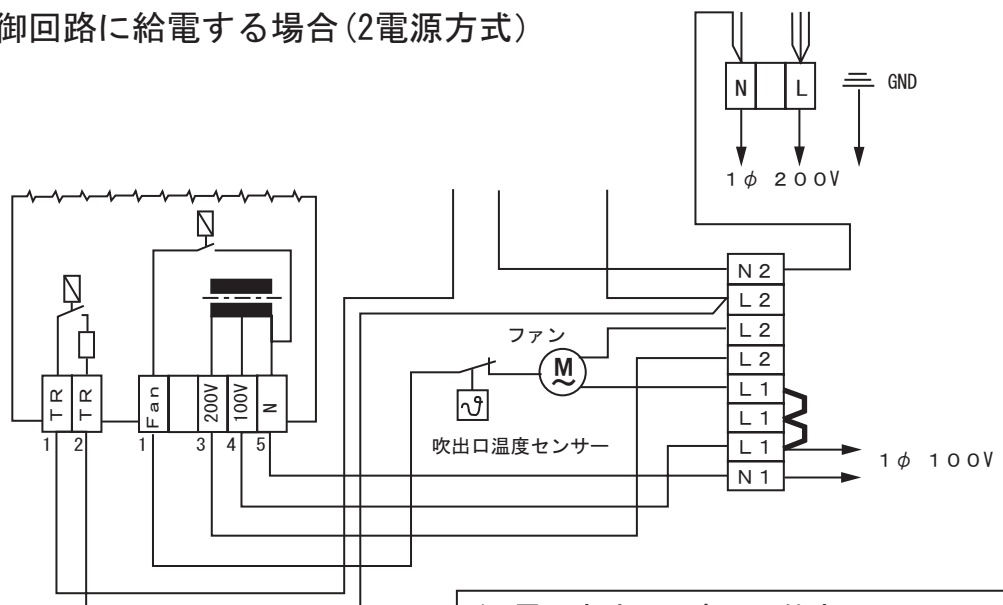
※工場出荷時の回路

電流値	
２kW	１０A
３kW	１５A
４kW	２０A
５kW	２５A
６kW	３０A
７kW	３５A

ヒーター素子
温度過昇防止器
操作部パネル
サーマル
リレー
フラットケーブル
コアセンサー
蓄熱量調整
N
L
GND
1φ 200V
メイン基板
室温センサー
N2
L2
L2
L2
L1
L1
L1
N1
ファン
M
銅ジャンパ
渡り線
吹出口温度センサー
TR
TR
1
2
Fan
200V
100V
N
1
3
4
5

◇耐雷対策
トランス方式を採用し、
メイン基板上に配置

◇100Vにて制御回路に給電する場合(2電源方式)

◇2電源方式への変更の仕方

①Ｎ１−Ｎ２に接続されている水色の渡り線を外す。
②Ｌ2−Ｌ2−Ｌ2に入っている銅ジャンパ片を、Ｌ1−Ｌ1−Ｌ1に移動する。
③Ｌ1とＮ1に１００V用耐熱ケーブルを取り付ける。

12. 製品詳細図

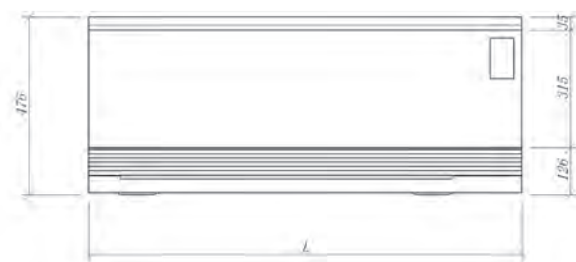
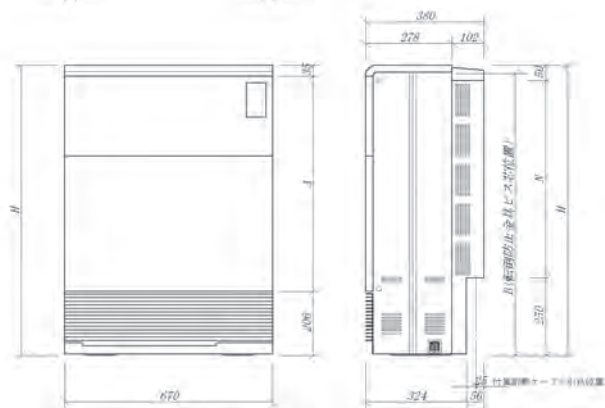
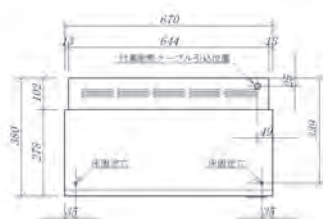
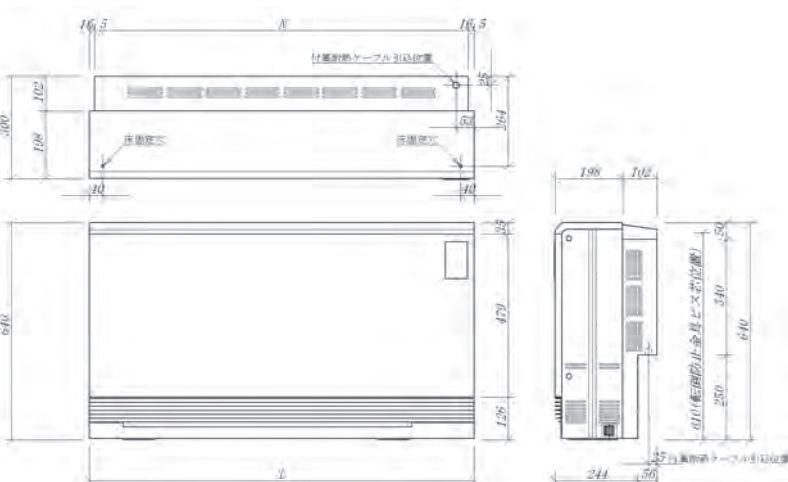
◇標準型（Carat）

	L (mm)	N (mm)
14-512-9	575	542
14-513-9	750	717
14-514-9	925	892
14-515-9	1135	1102
14-516/517-9	1310	1277

◇縦長型（Montana）

	H (mm)	N (mm)	A (mm)	B (mm)
14-534-9	805	505	564	778
14-535-9	933	633	692	906
14-536-9	1061	761	820	1034

◇横長型（Century）

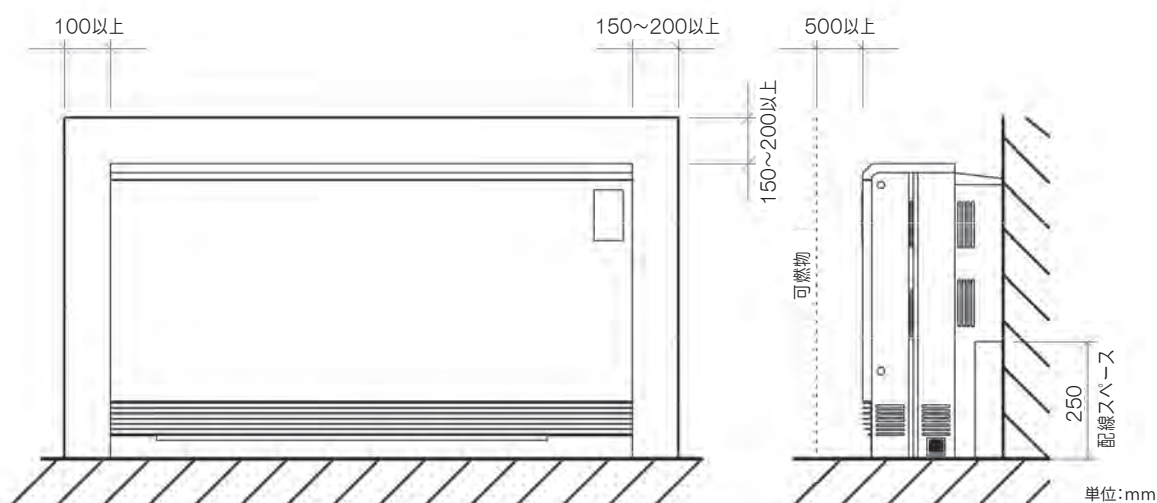
	L (mm)	N (mm)
14-552-9	860	827
14-553-9	1010	977
14-554-9	1160	1127
14-555-9	1460	1427
14-556-9	1610	1577

13. 離隔距離

■障害物・可燃物に対する離隔距離について

①安全確保のため離隔距離は必ず確保してください。
●思わぬ故障の原因となったり、焼損などの被害を与える恐れがあります。
●離隔距離が不足すると暖房効率が低下します。

②点検や修理の為には、上部及び右側面の離隔は２００mm以上が望まれます。
●ファンの交換やヒーター交換時に必要な離隔距離です。

③転倒防止金具は本体と一体となっておりますので、背面は壁に直付けとなります。

④右側面パネルに室温センサーが取り付けられております。
●右側面側の離隔が不足すると室温検知温度が高くなりファンの動作に支障をきたす事があります。

アフターメンテナンスも考慮し離隔距離を必ず確保してください。

※上記離隔距離は、本体を正常に動作させる為に必要な寸法であり、周囲の壁や棚等に対する影響を保証するものではありません。
※蓄熱式電気暖房器は、周りの空気を暖め自然対流させる事でお部屋を暖めます。
自然対流し易いように、出来るだけ周りの離隔距離を大きくおとりください。
※修理の際、離隔距離が少なく本体を移動させる必要が発生した場合、修理代が割増になる事があります。

蓄熱式電気暖房器は、運びやすくする為に本体と蓄熱レンガは別々に梱包されています。
「オルスバーグ」製品は梱包を必要最低限にし、リサイクルされた原料で作られています。
パッケージや製品は、可能な限り別の原料にリサイクルしたり適切に処理できるようになっています。
〔重要〕パッケージとリサイクルできる部分、廃棄する使用済みの製品及び製品部位を分別してください。